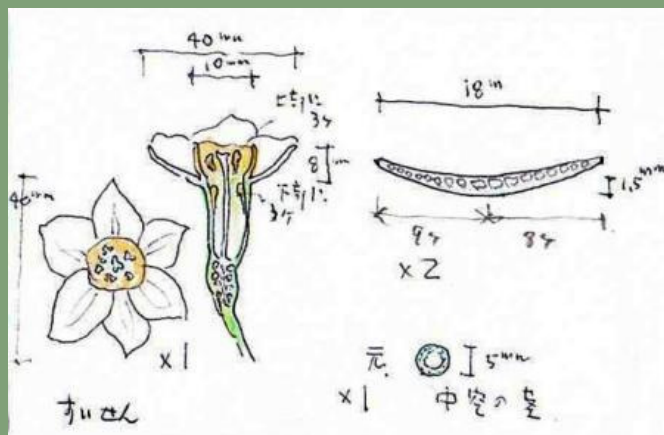


見沼田んぼ・野草スケッチ「スイセン」

科名：ヒガンバナ科 スイセン属

花言葉 | うぬぼれ 自己愛



知人からの頂いた房総のスイセン 11.12.13

P.S. 年末にさわやかな姿をしたスイセンが房州から届き新しい年を迎える気持ちになります。スイセンの学名は、Narcissus (ナルシサス)。ギリシャ神話に登場する美少年ナルキッソスに由来するといわれています。復讐の女神ネメシスにより、ナルキッソスは水鏡に映った自分の姿に恋をしてスイセンになってしまう、という神話が伝わっています。



ショウハイスイセン

「スイセン」

原産地・生育地：主にスペイン、ポルトガルを中心に地中海沿岸地域、アフリカ北部

茎：黒い外皮に包まれた鱗茎の内部にある。そのため切断しない限り人の目に触れることはない。

葉：若干厚みがあり扁平で細長く、つや消しのような表面をしている。
草丈は、15 - 50cm 程度

花期：ニホンズイセンだと初春には開花するが、西洋スイセンは4月ごろに開花

花：スイセンの花の場合、雌蕊（しずい）は1本、雄蕊（ゆうずい）は6本。6枚に分かれた花びらと、中心に筒状の花びらを持つが、6枚に分かれている花びらのうち、外側3枚は萼（がく）であり、内側3枚のみが花弁である。二つをあわせて花被片（かひへん）と呼ぶ。一方、中心にある筒状の部分は副花冠（ふくかかん）という。花被片・副花冠の形状と花の着き方により、品種を区分する。

花色：白や黄の花 花の形による分類

ここでは西洋スイセンの花容の説明をする。ラップ咲き - カップ咲き 小カップ咲き - 八重咲き - 花弁や副冠が八重咲きになるもの。トリアンドロス咲き - 下向きに咲くもの。シクラメネウス咲き - スプリットコロナ咲き -。

果実：開花後は葉と茎が枯れるまで切らずに置くと球根が太る。

名前の由来：上記参照。*Narcissus* という学名は、ギリシャ神話に登場する美少年ナルキッソスに由来する。